

内谷に伝わる神楽と歴史を歩いて巡れば、
たくさんの発見が待っています。



神楽の里「内谷」うちや

歴史めぐり

国見町郷土史研究会 小坂方部研修会

平成29年**11月19日**(日曜日)

9:30 開始 (2時間程度)

※当日は、3km程度を解説を聞きながら歩きます。(小雨決行)
※歩きやすい服装・靴でご参加ください。天候によっては、寒暖や小雨に対応できる服装・雨具等もご準備ください。
※水分補給については各自で持参ください。

内谷には、明治15年に伝わった「内谷春日神社太々神楽」(町無形民俗文化財)が地域の人々によって大切に継承されています。その春日神社を中心に東西の集落が形成されていますが、内谷沼とも関わる「薬師堂」・伊達氏家臣内谷氏との関連が指摘される「内谷館跡」・国見石による「旧小坂村産業組合石蔵」(国登録有形文化財)の多様な文化遺産が存在しています。秋の内谷を歩いて、国見の歴史・文化を体験してみませんか？



定員

50人程度
(申込・参加費不要)

集合場所

小坂農村総合管理センター
福島県伊達郡国見町
大字小坂字南1-1

主催/国見町郷土史研究会 後援/国見町教育委員会
協力/大字内谷協議会 内谷春日神社太々神楽保存会

【問合せ】
国見町歴史まちづくり推進室
電話024(585)2967

小坂農村総合管理センター 【スタート】

「内谷館跡」(愛宕神社)



内谷集落の中心に存在する春日神社が立地する丘陵には、中世の城館である「内谷館」が存在していました。

城主などは不明ですが、伊達氏の一族である内谷氏の居館であったと推定されています。内谷氏の歴史と合わせて紹介します。(写真は山頂の愛宕神社)

「内谷春日神社太々神楽」



明治15年に三春・田村地方から伝承を受けた「内谷春日神社太々神楽」(町無形民俗文化財)。神話を題材にした演目が中心の出雲流神楽ですが、躍動的な踊りの山伏神楽も取り込まれています。2度の断絶を経ながら、保存会のみなさんにより大切に継承されています。演目の一部が、今回特別公演されます。

小坂農村総合
管理センター
【ゴール】

内谷見学 MAP



※順路は、天候や参加者人数等により変更や入れ替えを行う場合があります。

「薬師堂」



お祭りの際にしか開帳されない内部が、今回公開されます。薬師如来の本尊を見学できます。境内の「なで石」や、かつて隣村の山崎村と、沼と薬師堂を交換した話など地元には伝わる隠れた昔話がたくさん。

旧小坂村産業組合石蔵



昭和16年建設の大型の石造建築物です。国見石を用いて、国見の石工と大工が造りました。町内最大規模であり、様々な工夫が取り入れられました。昨年、国登録有形文化財となりました。